

製品名: Rad51C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16844**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	RAD51C
別名	RAD51C; RAD51L2; DNA repair protein RAD51 homolog 3; R51H3; RAD51 homolog C; RAD51-like protein 2
遺伝子 ID	5889.0
SwissProt ID	O43502
免疫原	抗血清はヒト RAD51C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

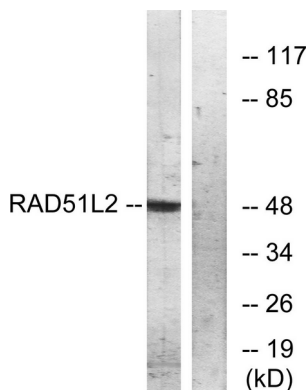
RAD51 パラログ C (RAD51C) Homo sapiens この遺伝子は RAD51 ファミリーのメンバーです。RAD51 ファミリーのメンバーは、

細菌の RecA および *Saccharomyces cerevisiae* Rad51 と非常に類似しており、DNA の相同組換えおよび修復に関与することが知られています。このタンパク質は他の RAD51 パラログと相互作用することができ、ホリデイジャンクションの解決に重要であることが報告されています。この遺伝子の変異は、ファンconi貧血様症候群と関連しています。この遺伝子は、乳がんにおいて増幅が頻繁に起こる染色体 17q23 領域に局在する 4 つの遺伝子のうちの 1 つです。増幅中に 4 つの遺伝子の過剰発現が観察されており、腫瘍の進行における役割の可能性を示唆しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2013 年 7 月],機能: DNA 複製中に生じる、または DNA 損傷因子によって誘発される二本鎖 DNA 切断の相同組換え修復 (HRR) 経路に関与する。RAD51B-RAD51C 二量体は、一本鎖 DNA 依存性 ATPase 活性を示す。BCDX2 複合体は、一本鎖 DNA、二本鎖 DNA 中の一本鎖ギャップ、そして特に二本鎖 DNA の切断部に結合します。類似性: recA ファミリーに属します。RAD51 サブファミリー。サブユニット: RAD51B および XRCC3 と相互作用します。RAD51B、RAD51C、RAD51D、XRCC2、XRCC3 からなる BCDX2 複合体の一部です。RAD51B、RAD51C、RAD51D、XRCC2、XRCC3 からなる複合体の一部です。RAD51B および RAD51 との複合体の一部です。組織特異性:さまざまな組織で発現しますが、精巣、心筋、脾臓、前立腺で最も高く発現します。、

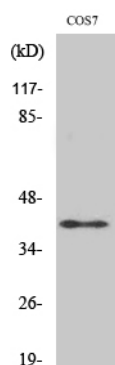
研究分野

相同組換え;

画像データ



RAD51L2 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Rad51C ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。